

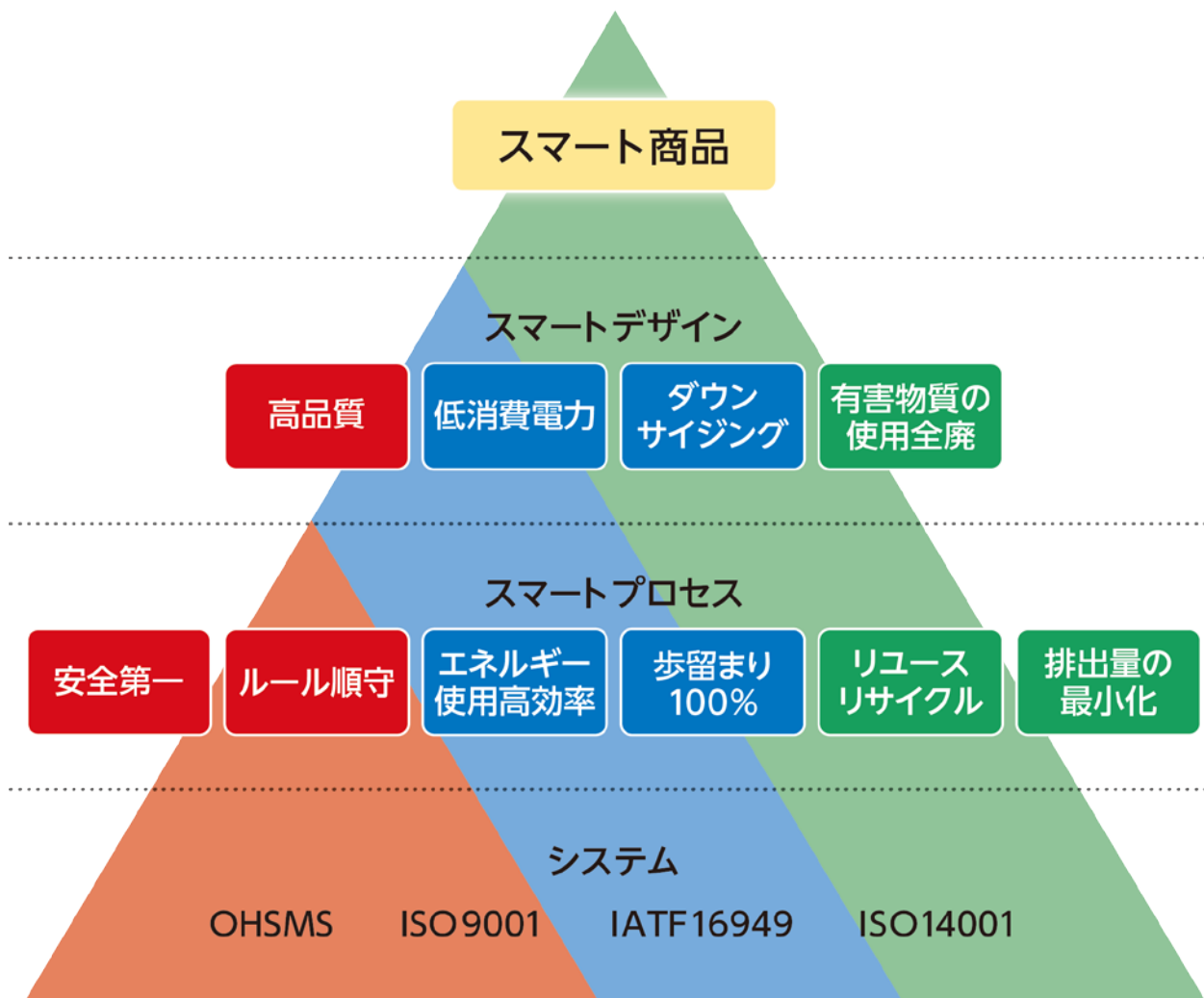
2020年3月期 決算説明会

経営方針

2020年5月12日

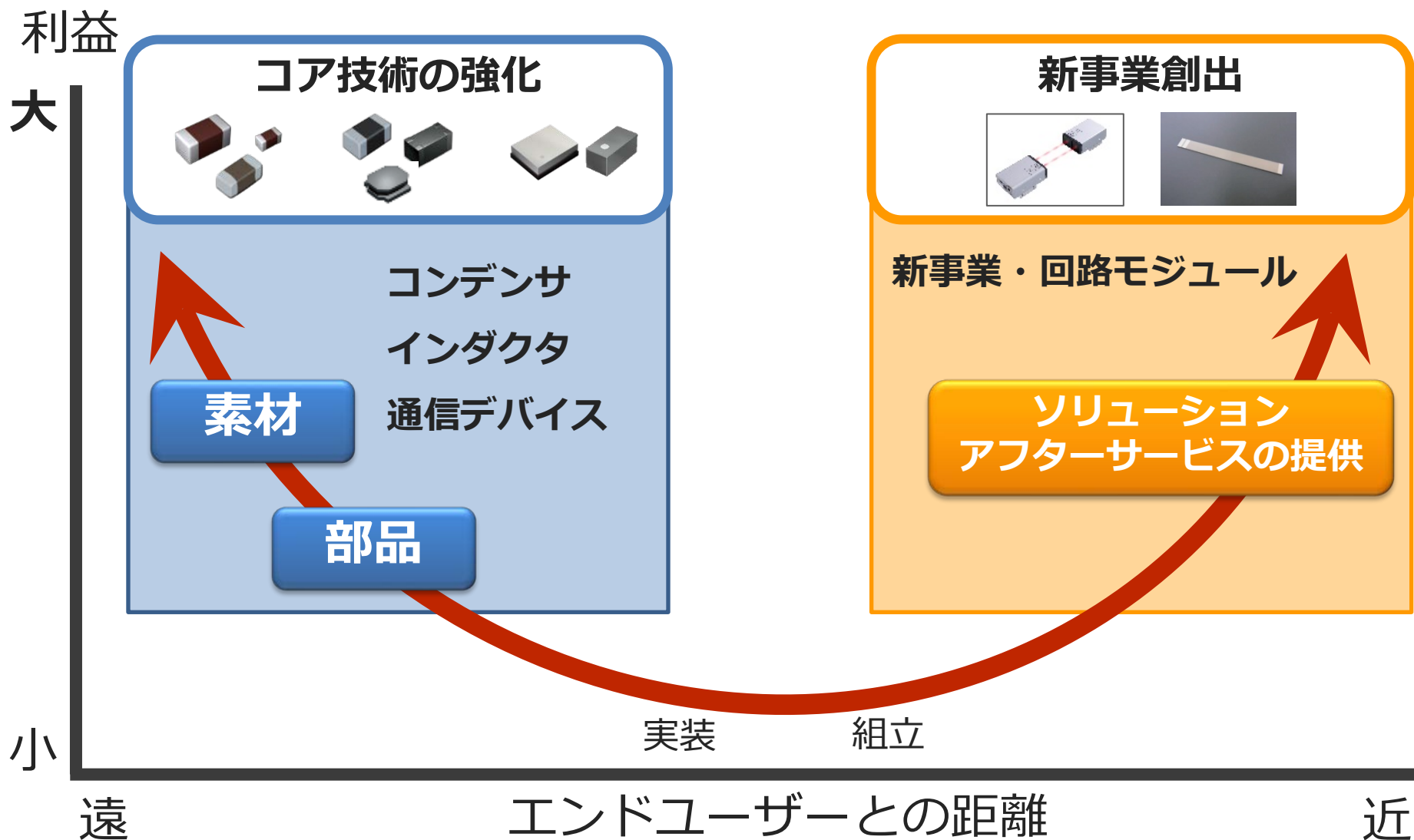
太陽誘電株式会社
代表取締役社長
登坂 正一

お客様から信頼され、感動を与える
エクセレントカンパニーへ



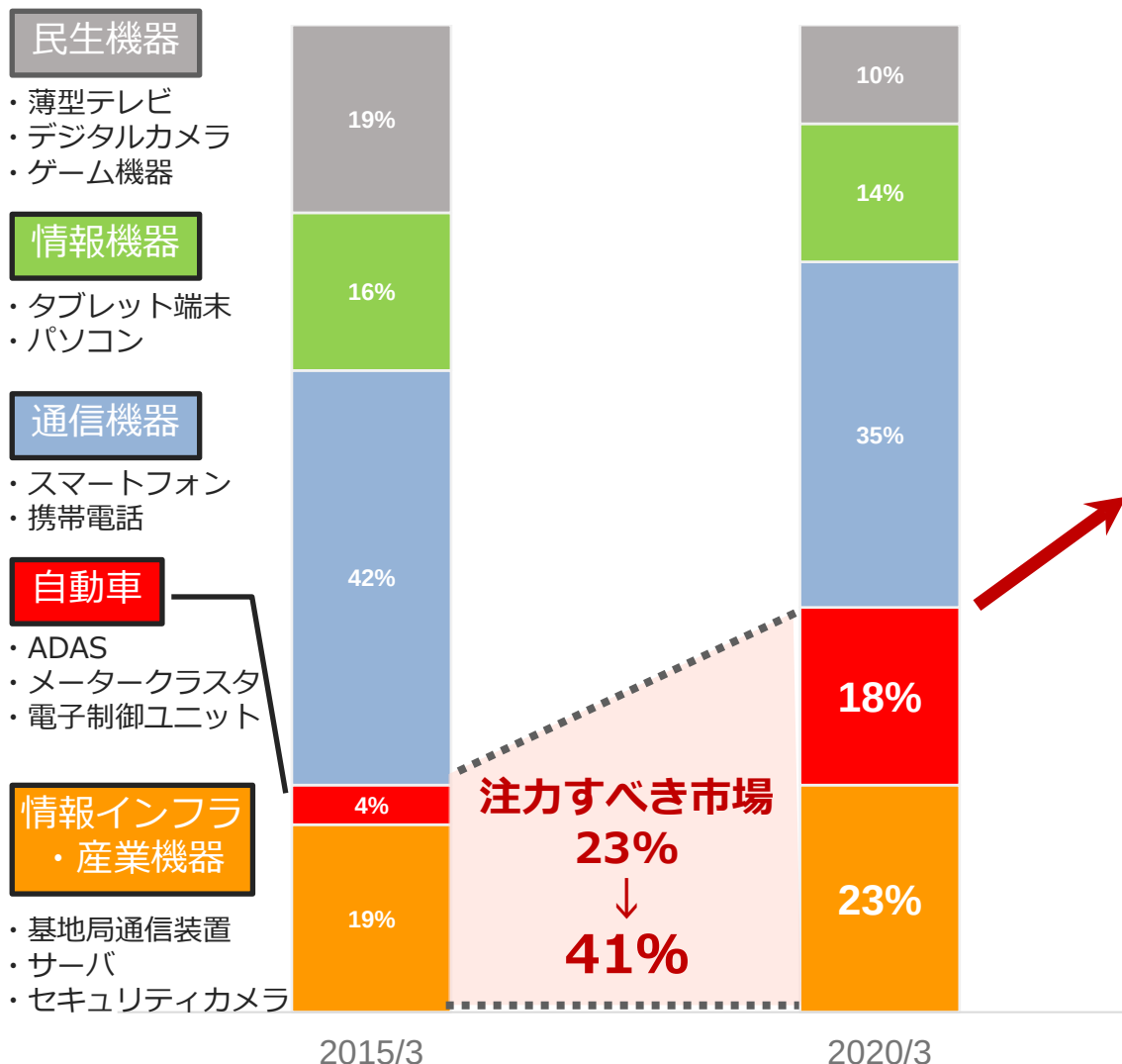
高収益体質に向けたビジネスモデルの変革

3つの『モノ』と1つの『コト』



自動車、情報インフラ市場の拡大

用途分野別売上構成



成長する
自動車、情報インフラ
市場に注力

注力すべき市場
売上構成比

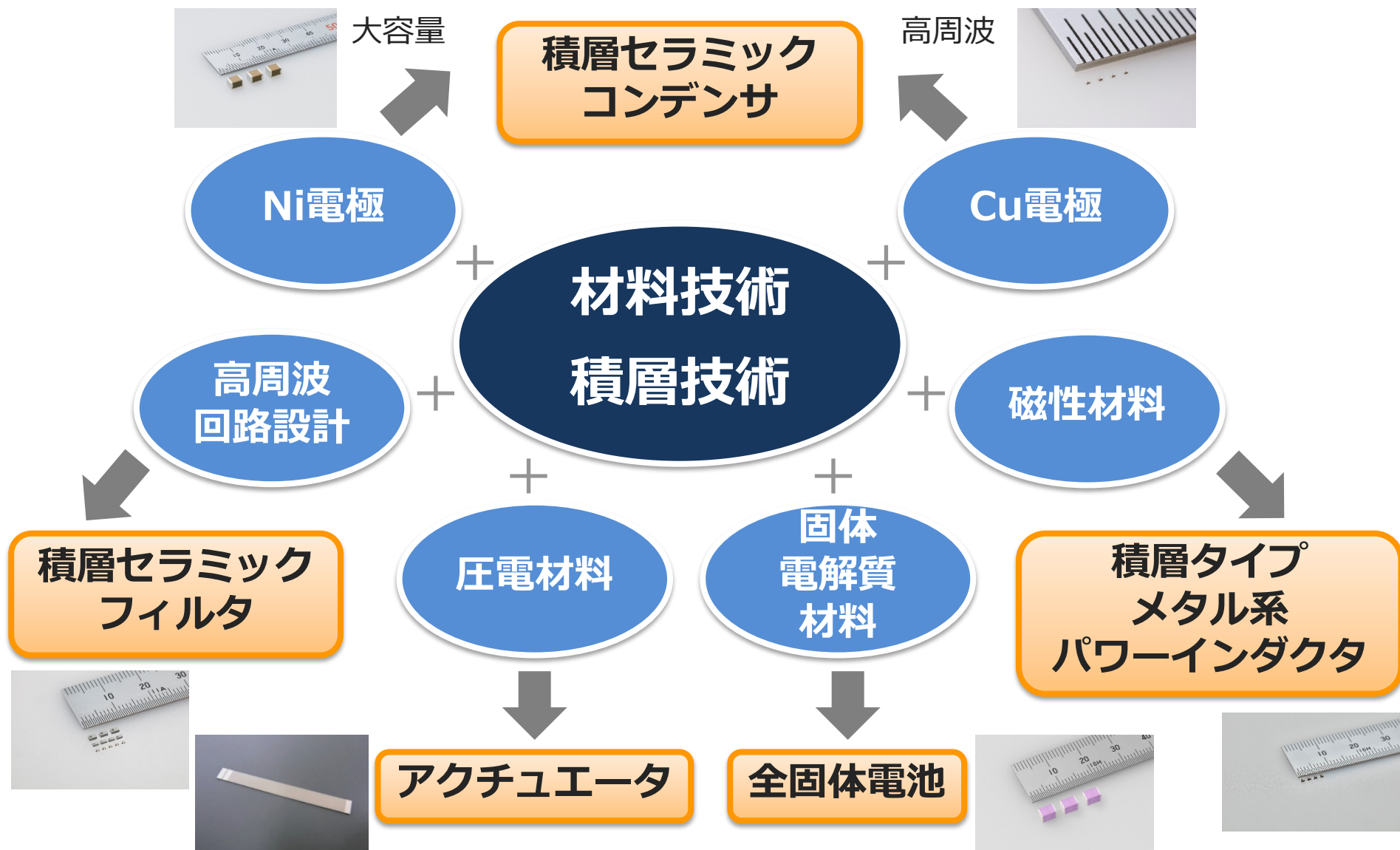
ターゲット **50%**

自動車 25%
情報インフラ・産業機器 25%

需要変動の影響を
受けにくい事業構造へ
シフトし、
業績の安定性を向上

材料技術、積層技術を中心とした商品展開

IoT、5G、自動車電装化などの技術進化を支えるハイエンド電子部品を供給



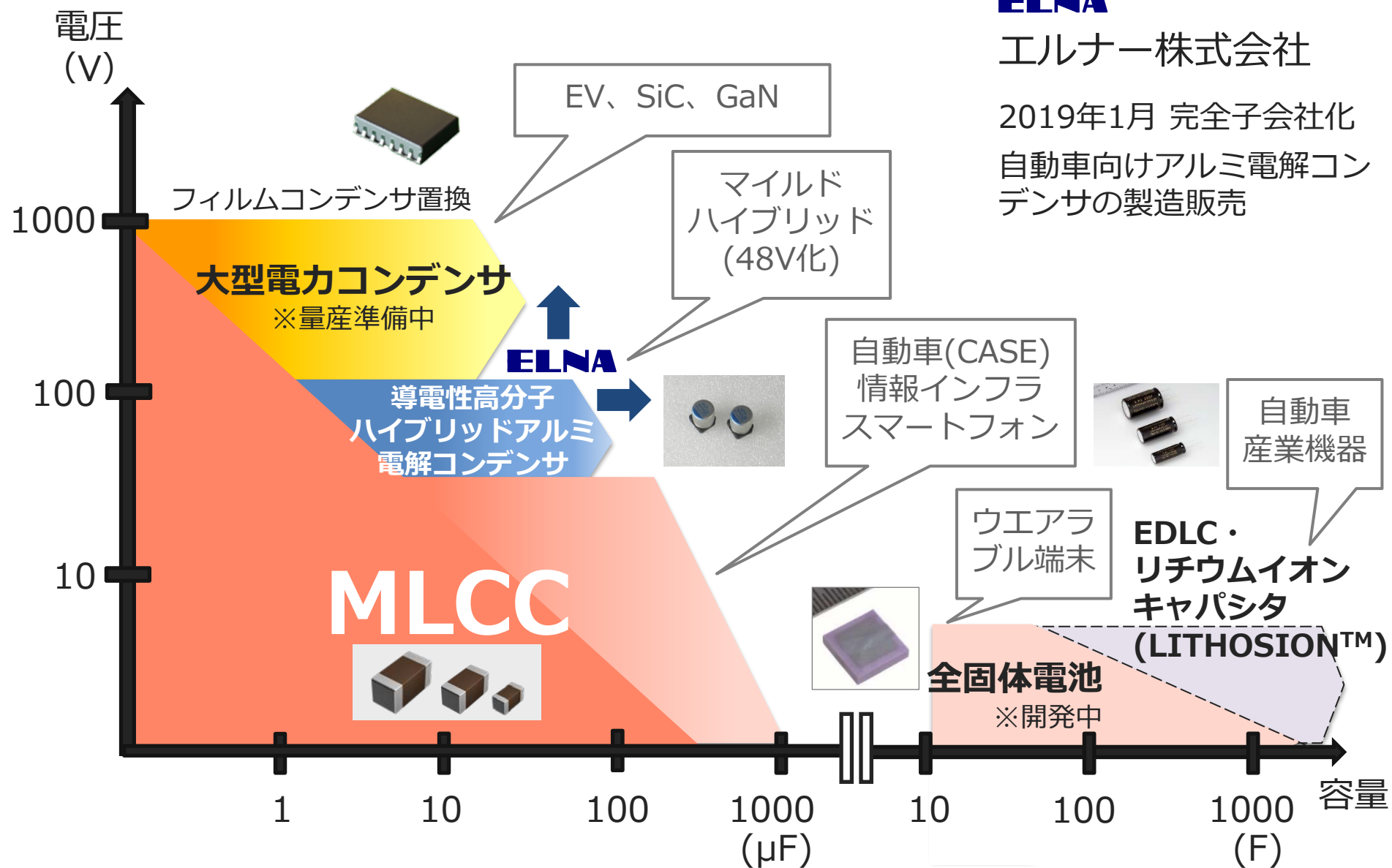
コンデンサ事業の方向性とエルナー社の位置付け

ELNA

エルナー株式会社

2019年1月 完全子会社化

自動車向けアルミ電解コンデンサの製造販売



モノづくりの進化「smart.Eプロジェクト」

～GからEへ～

IoTとビッグデータを駆使して
ムダ・ムラ・ムリをなくし、
モノづくりを大きく進化させる



中期経営計画

売上高

3,000億円

営業利益率

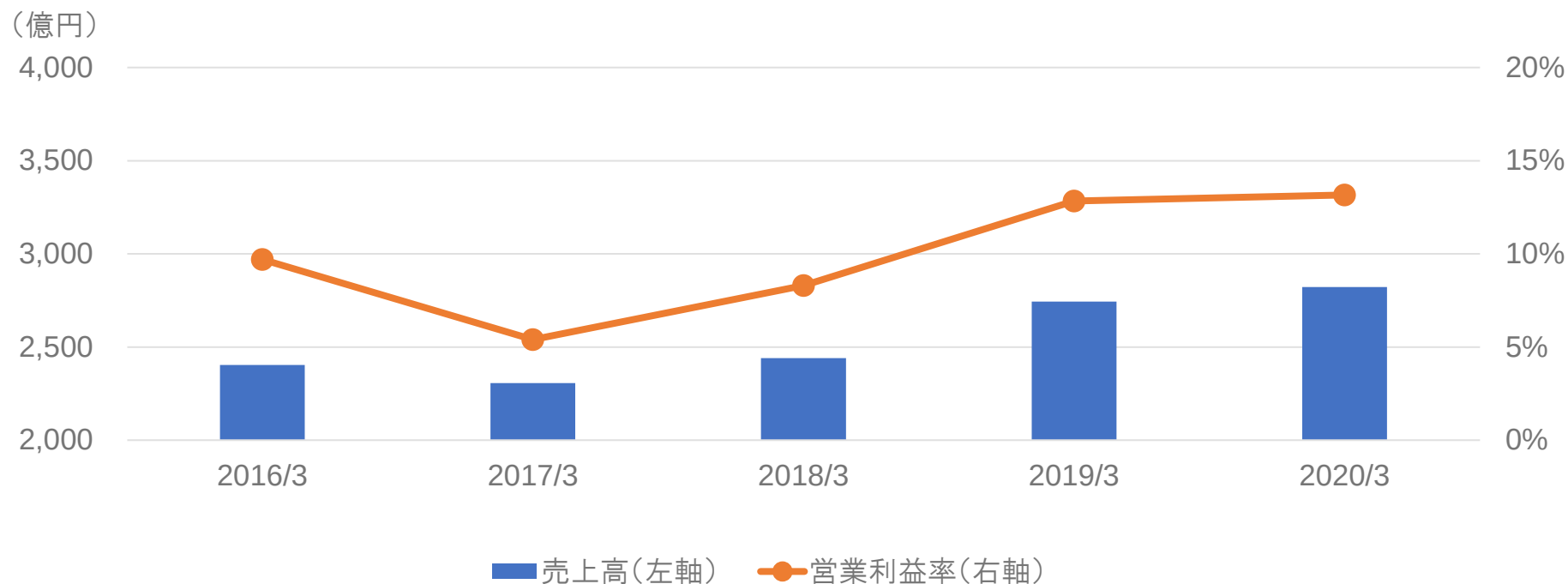
15%

ROE

10%以上

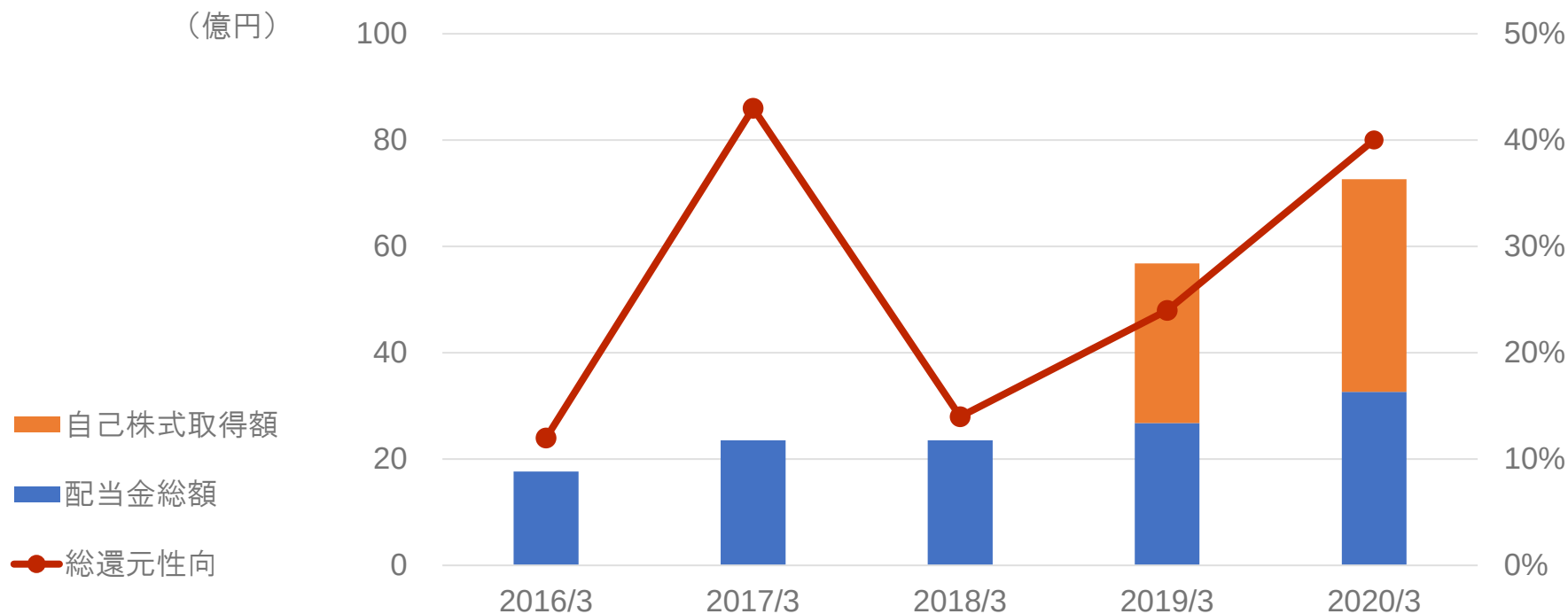
※中期経営計画の達成時期

ターゲットは2021年3月期だが、
当期の通期業績予想は未定
(5月12日時点)



中期目標

安定的な総還元性向30%の実現を目指す



1株当たり配当金(円)	15	20	20	21	26
1株当たり当期純利益(円)	125.27	46.08	138.80	189.93	143.04

当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN